

世界的オーボエ奏者、
下関に初上陸！

Thomas Indermühle

トーマス・インデアミュレ オーボエアンサンブルコンサート

—素晴らしい音色をすべての人たちへ—

2024年

11/24 (日)

開演：14時 (開場：13時30分)

会場：ドリームシップ 海のホール

(下関市生涯学習プラザ) 山口県下関市細江町3-1-1

アクセス：JR下関駅より徒歩約10分・細江町バス停徒歩約1分

チケット：一般4,000円、高校生以下2,000円[全席自由・税込]

※未就学児の入場はご遠慮ください。



若木麻有
(オーボエ、イングリッシュホルン)



綾目奈緒子 (オーボエ)



加納律子 (ルボフォン)



大木雅人
(オーボエ、イングリッシュホルン)



久保千尋 (ピアノ)

曲目：G. プッチーニ：歌劇「蝶々夫人」より / A. ドヴォルザーク：管楽器のためのセレナーデ Op.44 より第1、4楽章
J.E. ヒラルド：オーボエと"曲がったオーボエ"のための「遠くの人を呼ぶ方法」他

主催：株式会社ユニール



後援：下関市・下関市教育委員会・(公財)下関市文化振興財団・山口新聞社・朝日新聞社・毎日新聞社・KRY山口放送・
tys テレビ山口・yab山口朝日放送・COME ON! FM・NPO 法人『芸術・文化若い芽を育てる会』

プレイガイド：下関市生涯学習プラザ・下関市民会館・
チケットぴあ・teket

お問い合わせ先：株式会社ユニール 090-3081-7663

電子チケット・
公演詳細は
こちら→



<トーマス・インデアミュレ 東京公演>

2024年11月18日(月)19時開演 会場：牛込筆筒区民ホール
お問い合わせ先：主催：G.B.P. 070-8489-1181 (G.B.P. 大木雅人)

Unir Muse concert

ユニールミューズコンサート

—— 素晴らしい音色をすべての人たちへ ——

今回は、世界的オーボエ奏者トーマス・インデアミュレ氏を初めて下関市にお迎えします。巨匠のもとに全国からトッププレーヤーたちが集い、貴重なオーボエアンサンブルを披露します。日本に1本しかない新種のバス・オーボエ「ルポフォン」のまん丸なベルにも、ご注目ください。



トーマス・インデアミュレ
Thomas INDERMÜHLE (オーボエ)

1951年スイス・ベルンの名門音楽一家に生まれる。フライブルク音楽大学でH. ホリガー に、パリではM. ブルグに師事。その後数年、ソロのオーボエ奏者として、オランダ室内管弦楽団や、ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団と演奏活動をし、74年プラハの春国際音楽コンクール、76年ミュンヘン国際音楽コンクールで入賞を果たした。以来、ソリストとして、ヨーロッパ全土、米国、カナダ、メキシコ、日本、韓国、オーストラリア等で活躍。M. トロヤーン、W. リーム、D. P. ヘフティ、西村朗など第一線で活躍する作曲家が彼のためにオーボエ協奏曲を書いている。「クーブラン・アンサンブル」を率い、オーボエ奏者、指揮者として、また教師として熱心に活動を続けている。84年より、チューリッヒ音楽学院でオーボエクラスを持ち、89年よりカールスルーエ音楽大学教授に就任。また最近ではパリのエコール・ノルマル音楽院とローマのアヴォス・プロジェクトでも後進の指導に当たっている。CD録音は、フィリップス、EMI、ノヴァリス、カメラータ・トウキョウより数多く発売されている。



綾日奈緒子 (オーボエ)

山口県立下関高等学校、武蔵野音楽大学ヴィルトゥオーソ学科卒業、ブリュッセル王立音楽院修士課程をディステインクシオン付きで修了。パリ・エコール・ノルマル音楽院にてアーティストディプロマ(審査員満場一致)と室内楽科高等ディプロマを取得。パリ地方音楽院室内楽科コンサーティスト課程にてエマニュエル・ストロツェ氏に師事。第1回パリ国際音楽コンクール室内楽部門1位。第10回NPO法人芸術・文化若い芽を育てる会にて聴衆賞、スポンサー賞を受賞。これまで、津守一彦、青山聖樹、ダヴィッド・ワルター、トーマス・インデアミュレ、エリック・スベレールの各氏に師事。



若木麻有 (オーボエ、イングリッシュホルン)

熊本県出身。東京藝術大学、ドイツ国立カールスルーエ音楽大学卒業、オーストリア国立ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学大学院修了。プラハの春国際コンクール、入賞、委託作品賞受賞。元オーストリア・グラーツ州立歌劇場オーボエ奏者。帰国後は国内の数々のオーケストラで客演し、毎年開かれる草津国際夏期音楽アカデミー & フェスティバルでは Thomas Indermühle 氏のアシスタントなどを務める。オフィシャルサイト <http://www.wakakimayu.com>



大木雅人 (オーボエ、イングリッシュホルン)

東京都新宿区出身。明治学院大学法学部政治学科を卒業後、音楽の道を志し、国立音楽大学に入学。同大学を中退し渡独。カールスルーエ音楽大学に編入学。同大学院のオーボエ専攻を修了後に、同大学院室内楽専攻も修了。ニダーバイエルン州立歌劇場に客演。オーボエをトーマス・インデアミュレ、クリスティアン・シュミット、ドメニコ・オルランドの各氏に師事。現在、東京都内や新潟市内を中心に演奏活動中。オーケストラ・アンサンブル金沢、京都市交響楽団に賛助出演。さわかみオペラオーケストラ団員。コパケンとその仲間たちオーケストラでは首席奏者として出演中。



加納律子 (ルポフォン)

群馬県出身。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、東京藝術大学卒業。ドイツ国立カールスルーエ音楽大学大学院を最優秀の成績で修了。第66回日本音楽コンクール第3位入賞。1998年よりオーケストラ・アンサンブル金沢オーボエ奏者。カメラータ・トウキョウよりCD《ルポフォン~新種のバス・オーボエの可能性に迫る》をリリース。ソロ、室内楽、編曲、通訳等、様々な活動をしている。女性5人によるオーボエ・アンサンブルグループ「オーボエ・ファイブ」メンバー。石川県ジュニアオーケストラ講師。



久保千尋 (ピアノ)

下関高等学校を経て、京都市立芸術大学を首席で卒業後、東京藝術大学大学院を修了。大学院在籍中に渡独。ハンブルグ音楽演劇大学を最優秀の成績で修了。国家演奏家資格取得。更にウィーン国立音楽大学にて研鑽を積む。シュエバルト国際コンクール (Dortmund)、松方音楽賞等受賞。日本のみならず欧州各地でのソロリサイタル他、室内楽のコンサートに多数出演、共演者からの信頼も厚い。またソリストとして、ハンブルグ交響楽団、京都市交響楽団等国内外のオーケストラと数多く共演。平成28年度下関芸術文化振興奨励賞受賞。ハンブルグ音楽演劇大学講師を経て、現在エリザベト音楽大学専任講師。

